

木質系

油吸着材の特許が確定

特許の名称 油吸着材の製造法およびその連続製造装置

特許番号 特許第2594507号

林産試験場が開発して、特許申請をしていた油吸着材に関する特許が平成8年12月19日付けで登録され、確定しました。

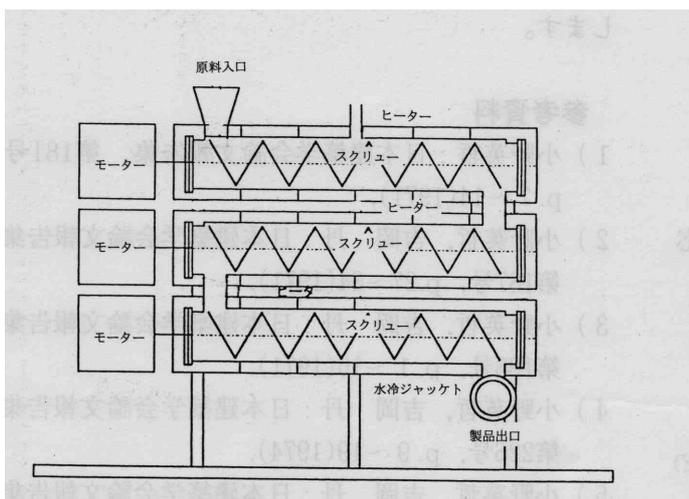
発明の内容は、木材のようなリグノセルロース物質を繊維状あるいは細片状にして、かさ密度を小さくし、250～400 で熱処理を行い、吸水性が小さく、油吸着性が高い油吸着材の製造方法、およびその連続製造装置です。

連続製造装置は下図に示したように、内部にスクリー式の搬送装置を有する管を三段に連結してあり、上段と中段で外部から加熱して熱処理を行い、下段で冷却し製品を取り出せるようにした油吸着材の連続製造装置です。

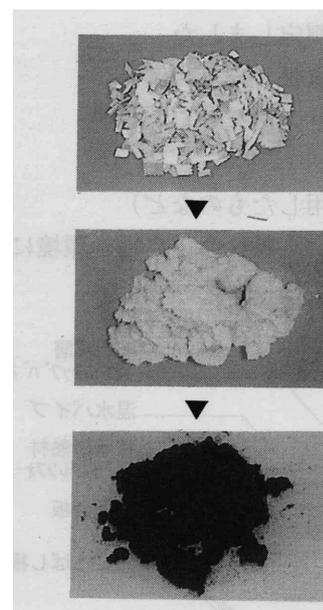
この油吸着材の特許申請は、アメリカ、カナダおよびヨーロッパにも行い、アメリカでは特許が確定しています（アメリカ特許No.5,585,319）。

このほか、油吸着材に関連するもので民間企業などと共同出願中のものが2件あります。

（林産試験場 油吸着材プロジェクトチーム）



連続式熱処理装置の模式図



木チップ

解 織

ファイバー

熱 処 理

油吸着材